

【実践能力習得訓練コース実施例】

自動車部品加工作業科

30代 男性 知的障害（B2）の方

[1日の訓練時間] 6時間→8時間 [訓練期間] 1か月 [総訓練時間] 119時間

訓練内容	自動車部品及び二輪バイク組付作業 作業後の片づけ（整理・整頓）
受講動機	車関係に興味があり、機械を使った仕事をやりたいと思っていた。 実際に会社を見学して、自分に合っていると思い訓練を希望。

■障害に対応した指導の工夫や配慮

『長時間の作業ができるか、自信がない。』

- ・ 1日8時間の立ち仕事の作業だったため、訓練時間を6時間から始め、体力的にも無理なくスムーズに訓練に取り組めるようにした。

『休み明けの月曜日は、疲れが残っている様子で生産数が落ちる傾向にあった。』

- ・ 休日や日常生活の過ごし方などについて支援者とよく話し合い、訓練に支障が出ないよう工夫した。

『相手の反応が気になってしまい、コミュニケーションを難しく感じ、対人関係が不安になってしまうことがある。』

- ・ 挨拶の重要性や、報告・連絡・相談のタイミングについての指導のおかげで、訓練先の従業員の方と談笑する姿が見られるなど、良好な対人関係を築くことができた。



■訓練の成果・訓練修了後の状況について

- ・ 訓練中はこれまで経験のなかった立ち仕事での単純作業だったが、一日も休まず訓練をやり終えた事が、自信につながり、また体力もついた。
- ・ 安全に注意し製品の不良・欠品もなく、生産性も他の社員と比べても劣らない内容で訓練を終えることができた。
- ・ 訓練場所で就職。訓練中に身につけたスキルを活かし、今は部品組付けの一番重要な部署を担当している。

